

■ 運行計画について （事務局案）

1 系統

- ・路線定期運行とし、系統名は「余市循環線」とする
- ・必要に応じて愛称を設定する。

2 運行の開始期間

- ・令和4年4月1日から運行開始
- ・運行開始に合わせて「余市協会病院線」「余市紅志高校スクール便」を廃止

3 運行事業者と使用する車両

- ・運行事業者は北海道中央バス株式会社とし、余市町等により必要な支援を行うものとする。
- ・低床式のバスの導入を行う。

4 路線・停留所の設定

- ・利便性、効率性を確保しつつ、国による支援によって持続可能な運行を行うことを目標に、地域内フィーダー系統路線としての要件を適用するバス路線等を設定し、令和3年10月に実施した（仮称）余市循環線の実証運行結果を基に本運行に妥当性があると認め、別紙（運行計画資料①）のとおりとする。

（第5回～第8回余市町地域公共交通検討委員会）

- ・運行についての申請の際、バス停位置、名称について変更の可能性がある。

5 便数・時刻設定

- ・中央バス積丹線やJR函館本線との乗継ぎを考慮した時刻を設定。
- ・登校便、下校便については、余市紅志高校スクール便の時刻を尊重しつつ、可能な範囲で中央バス積丹線やJR函館本線との乗継ぎを考慮した時刻を設定。
- ・別紙（運行計画資料②）のとおり。
- ・春～秋の利用状況を注視し、冬期間における増便を検討する。別紙（運行計画資料②）の「冬期間の運行検討」と書かれた便
- ・紅志高校の臨時のスケジュールの際は、北海道中央バス株式会社と紅志高校間の協議のもと、臨時の「余市駅前―紅志高校間」増発便を行う。
- ・接続先の公共交通のダイヤは現在運行中のダイヤであることから、今後変更があった場合、本路線のダイヤについて必要に応じて修正を行う。

6 運賃設定

- ・循環する運行経路があり、わかりやすい運賃設定とするべく、均一運賃とする。
- ・令和3年10月に実施した（仮称）余市循環線の実証運行時のアンケート結果や、既存の運

行系統との統一性を鑑み、次のとおり設定する。

大人（中学生以上） 200円

小児（小学生） 100円

* 幼児・乳児については北海道中央バス株式会社の「小児運賃の取扱い」に合わせ、小児運賃又は無料とする。

7 周知計画

- ・余市町広報誌、広報誌折り込みチラシを重点とした、運行開始のお知らせを行う。
- ・町内の主要な公共・公益施設にポスターを掲示する。特にその施設の中でJR余市駅、余市協会病院、余市紅志高校での周知を重点的に行う。
- ・余市協会病院線の停留所にチラシを掲示する。
- ・バス定期券を購入している方への周知を徹底する。

8 運行調査

- ・利用者数、乗降状況について調査。特に紅志高校の状況について調査を行い、必要に応じて随時見直しを行う。